

# 市長から 市民のみなさんへ 46



山陽小野田市長 白井 博文

## 再度 平成 19 年度予算について

4 ページから平成 19 年度予算についての記事を掲載していますが、このコラムで若干、補足説明をさせていただきます。

6 ページに代表例をあげていますが、市民サービスに直接影響を及ぼす事態となったことについて、新聞報道等でその内容を耳にされた市民のみなさん、各種団体の方から数多くのご意見、ご不満の声をすでにいただいています。何年も続いた事業にまで切り込んで縮小、削減を行ったため、それらを当てにされていた方にとっては当然の思いであると受け止めています。ご迷惑をおかけして申し訳ございませんと、再度、お詫び申し上げます。

しかし、市民のみなさんには、市長から今一度「この 2～3 年の間は辛抱をお願いします」ともお伝えしておきたいのです。おそらく平成 20 年度も今年度同様の非常に厳しい予算編成となることでしょう。しかしながら、8 ページの実質公債費比率の表にありますように、その先は徐々にではありますが、黄信号から青信号が点灯し始めるようになり、数値的にも財政危機を脱するという見込みは得られています。今しばらくの間、市民のみなさんに耐えていただけるなら、今、「崖っぷち」で踏みとどまっている山陽小野田市の財政再建は必ず実現することができるのです。もちろん市役所内部においても“待っ

# 対話の日

※いずれの会場も 19:00 から



4月11日(水) 厚狭平原公会堂  
4月26日(木) 高畑 公会堂  
5月10日(木) 梶沖開作自治会館

たなしの改革” に乗り出し、一刻も早い難局の打開に向け、取り組む決意に変わりはありません。

先ほどからお話ししているとおり、このような事態はこの先ずっと続くわけではありません。「今しばらく辛抱してください」と市民のみなさんにご理解、ご協力を改めてお願いする次第です。

## 山陽総合事務所の 2,3 階を 市民のみなさんに開放します

13 ページ記事にありますように、現在、ほとんど使われていない山陽総合事務所の 2, 3 階の空き室を市民のみなさんにお貸しすることにしました。

もとより、公共施設は市民のものであるという考えを持っていましたので、市民サービスの向上につながるアイデアが何かないだろうか職員同士で知恵を絞った結果、今回の“市民開放”となりました。

わずかですが料金をいただきますし、職員の常駐する時間帯のみの使用に限らせていただきます。また、財政的にも苦しいので、あわせて部屋の模様替えなども行いません。お世辞にもきれいとは言えませんが、会合、会議などにお気軽にご利用いただければと思います。なお、山陽総合事務所の建物の耐震については、昨年の調査で、想定される震度 4 レベルの地震では倒壊の危険性はないという診断を受けています。使用にあたって、ご心配はいりませんと最後に付け加えておきます。

## 債権特別対策室 を設置しました

～公金未収金 11 億 5 千万円の収納対策を強化します～

平成 19 年度の機構改革として、4 月 1 日付けで、**債権特別対策室を設置しました。**

これは、行政改革の一環として、公金の滞納整理をすすめる、収納率の向上を図るとともに、公金負担の公平性を確保することを目的としています。

現在、本市は大変厳しい財政状況にあり、適正な歳入確保が課題にもかかわらず、市税、国民健康保険料および下水道使用料など**公金の未収金は、平成 17 年**

**度末で約 11 億 5,100 万円**となっています。

債権特別対策室では、滞納整理事務のアドバイザーとして県税事務所 OB、威圧・暴力行為対策として警察 OB を嘱託職員として採用し、一定期間、一定金額以上の滞納者や複数の公金を滞納している重複滞納者に対し、預貯金、生命保険、不動産など財産調査を実施して、**差押さえや公売等法的措置を積極的にいきます。**

【問い合わせ先】行政改革課 (☎ 82-1135)